


ネットワークカメラ

設置説明書

SNC-VM772R

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

説明書について	2
各部の名称と働き	3
準備	6
ケーブルの接続、配線を変更する	6
設置	7
カメラの取り付け位置を決める	7
カメラを取り付ける	8
カメラを取り付ける（市販の LAN ケーブルを使用 する場合）	9
カメラを取り付ける（側面の接続口を使用する 場合）	9
カメラを取り付ける（マルチコネクターケーブルを 使用する場合）	9
撮影方向と撮影範囲の調整	9
ドームケースを取り付ける	10
カメラ設置時の注意事項	11
接続	12
ネットワークへの接続	12
電源の接続	12
DC 12 V または AC 24 V 電源への接続	12
IEEE802.3af 準拠の電源供給装置への接続	12
I/O ケーブルへの接続	12
本機に IP アドレスを割り当てる	13
主な仕様	14

説明書について

安全のために（付属）

カメラを安全に使うための注意事項が記載されています。必ずお読みください。

設置説明書（本書／Web）

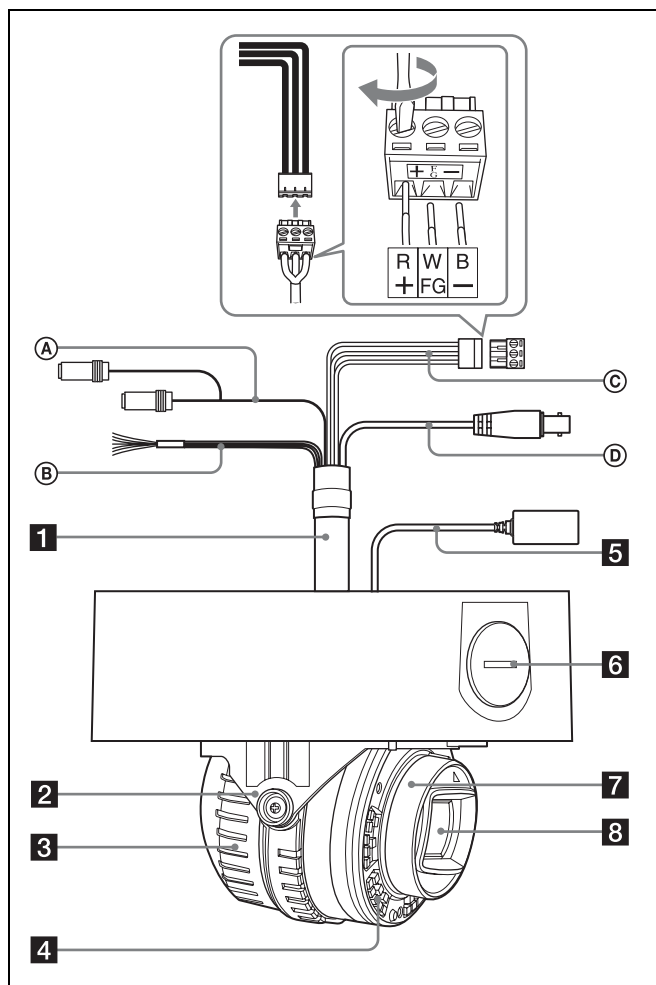
この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ユーザーガイド / アプリケーションガイド / SNC toolbox mobile アプリケーションガイド（Web）

- ・ Web ブラウザを介したコントロールの方法
 - ・ カメラのセットアップの方法
 - ・ スマートフォンやタブレットからの画角調整の方法
- 設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、ガイドをご覧になってカメラを操作してください。

各部の名称と働き

側面



図は、ドームケースを外した状態です。

1 マルチコネクターケーブル (付属)

出荷時は接続されていません。

ご注意

推奨品以外の機器を使用すると故障、誤動作の原因になります。

Ⓐ オーディオケーブル

長いケーブルをライン出力端子 (SP 表示)、短いケーブルをマイク/ライン入力端子 (MIC 表示) として使用します。マイク入力とライン入力は「ビデオ/オーディオ」メニューで切り替えます。

設定について詳しくは、ユーザーガイドをご覧ください。

- SP 端子 (ミニジャック、モノラル)

本機では使用しません。

- MIC 端子 (ミニジャック、モノラル)

市販のマイクを接続します。

プラグインパワー方式に対応しています。

Ⓑ I/O (入出力) ケーブル

2系統のセンサー入力、2系統のアラーム出力を備えています。各ワイヤーは次の信号に対応しています。

ワイヤーの色	名称
赤	センサー入力 1 +
白	センサー入力 2 +
黒	センサー入力 - (GND)
黄	アラーム出力 1 +
茶	アラーム出力 1 -
緑	アラーム出力 2 +
青	アラーム出力 2 -

◆ 各機能や設定について詳しくは、ユーザーガイドをご覧ください。

◆ 配線については「I/O ケーブルへの接続」(12 ページ) をご覧ください。

Ⓒ 電源入力ケーブル

AC 24 V または DC 12 V の電源供給装置へ接続します。

ケーブル先端のコネクターチップに延長用ケーブルをネジ止めできます。

電源入力ケーブルを使用する場合は、3 ピン端子の中央 (FG) にアースを接続してください。

Ⓓ BNC ケーブル

本機では使用しません。

2 ベース (パン)

3 カメラブロック

4 赤外線 LED

赤外線を照射するライトです。

ご注意

- 赤外線 LED を長時間見続けしないでください。
- 高温時に照射すると暗くなる場合があります。

5 LAN ケーブル (RJ45) (付属、出荷時に接続済み)

市販のネットワークケーブル (UTP、カテゴリ 5) を接続してネットワーク (10BASE-T/100BASE-TX) に接続します。

6 接続口 (側面) (3/4 NPT または M27 (ピッチ 2.0 mm)、穴径 ϕ 27 mm)

パイプを接続します。接続口はカメラ本体の側面にあります。出荷時は側面の接続口にカバーが付いていますので、カバーを取り外してパイプを取り付けてください。

内側のナットを取り外すことで、M25 のケーブルグランドを取り付けることができます。

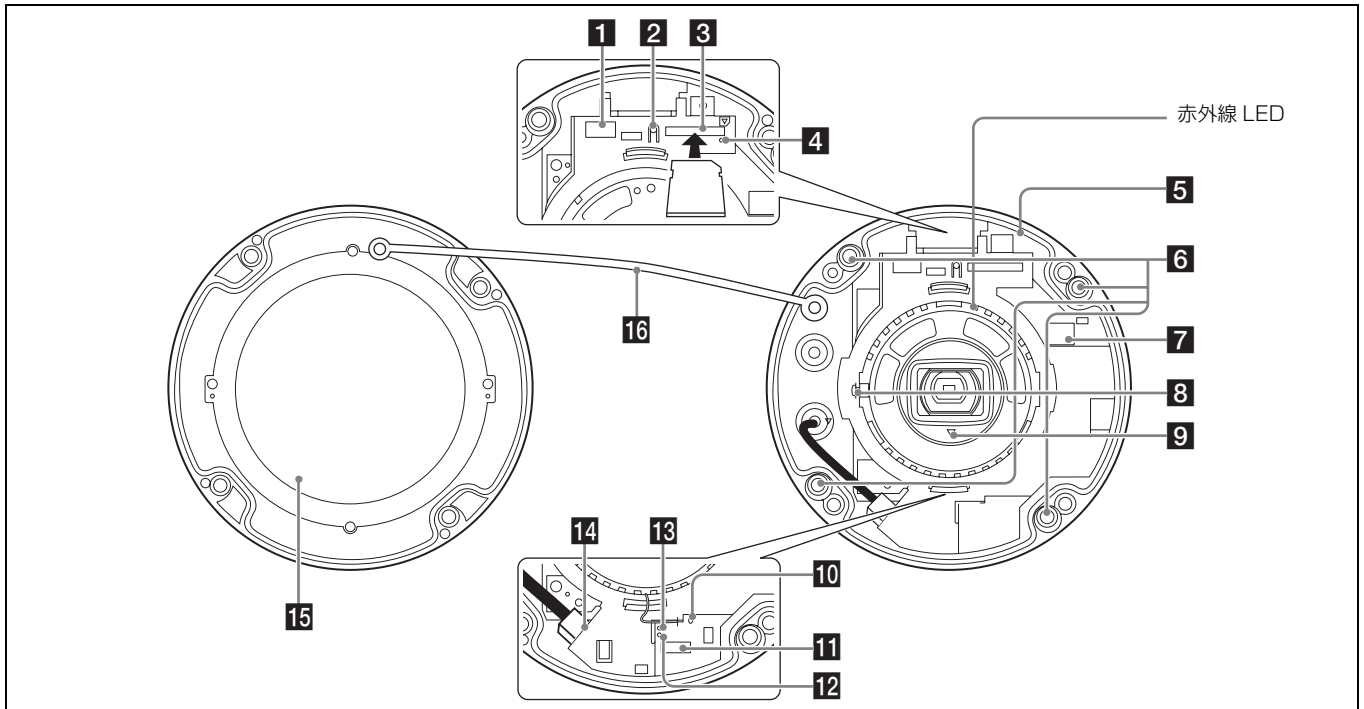
ご注意

屋内配線をするときに、カメラと、天井や壁の間にケーブルがはさみ込まれないようご注意ください。ケーブルがはさみ込まれると、断線による火災や感電の原因となります。

7 カメラヘッド

8 レンズ

内部



1 WLAN (ワイヤレス LAN 端子)

別売のソニー製 USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 (以下、WLAN モジュール) を装着します。
設置時の画角調整にご使用ください。

ご注意

- WLAN モジュールを装着した場合は有線 LAN が動作しません。
- 指定以外の機器を使用すると故障、誤動作の原因になります。
- 装着したままでドームケースをつけないでください。
- WLAN 使用時は、外気温度が 0℃～40℃ 以内でお使いください。

2 SD OFF スイッチ

スイッチを押すことにより、SD メモリーカードを安全に取り外せます。

SD MOUNT インジケータの消灯後、取り外してください。

ご注意

- インジケータの点灯中に取り外すとカードが壊れる場合があります。
- メモリーカードへの書き込み中に SD OFF スイッチを押した場合、直前のデータが失われるときがあります。

3 SD カードスロット

別売の SD メモリーカードを装着できます。

メモリーカードを装着することで、カメラの画像をメモリーカードに記録できます。

メモリーカードの切り欠きをマークに合わせて差し込み、カチッと音がするまで静かに押し込んで確実に装着してください。

本機は、SDXC 規格および SDHC 規格のメモリーカードにのみ対応しています。

ご注意

動作確認済みの SD メモリーカードについては、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

4 SD MOUNT (SD マウント) インジケータ

SD メモリーカードをマウントしている場合、点灯します。

5 カメラ本体

6 カメラ取り付け用ネジ (4 か所)

取り付ける際、取り付けネジはしっかり締めてください。

7 24 V ~ / 12 V 端子 (電源入力) 端子

付属するマルチコネクターケーブルの電源入力ケーブルを接続します。

8 カメラブロック固定ネジ (チルト) (1 か所)

カメラブロックを撮影したい方向に向けたあと、締めて固定します。

9 △ TOP マーク

画像の上方向を示します。

10 リセットスイッチ

先の細い物でこのスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。

11 AUDIO (オーディオ) EXT CTRL (外部入出力) 端子

付属するマルチコネクターケーブルの AUDIO, I/O ケーブルを接続します。

12 NETWORK (ネットワーク) インジケータ

ネットワークに接続されているときは点灯、または点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯しています。

13 POWER (電源) インジケータ (緑/橙)

カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。

本機が正常に動作している場合は緑に点灯します。また、内蔵のヒーターのみ (システムは停止中) 動作している場合は橙に点灯します。

14 LAN (ネットワーク) ポート (RJ45)

市販のネットワークケーブル (UTP、カテゴリ 5) を使用して PoE* 給電およびネットワーク通信を行います。

接続について詳しくは、電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

(*PoE: Power over Ethernet の略です。PoE は IEEE802.3af に準拠しています。)

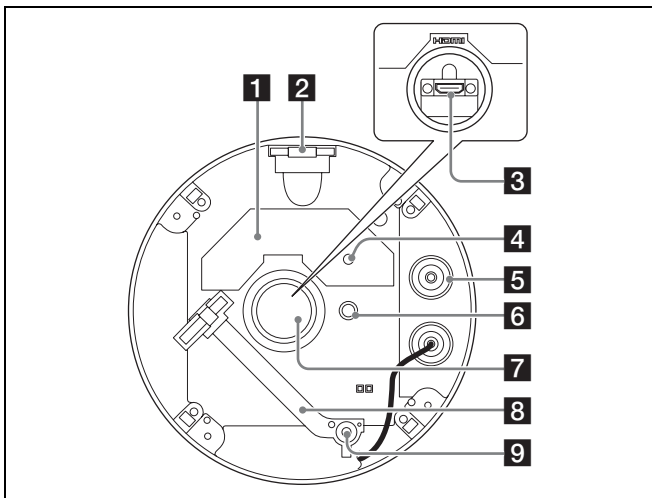
15 ドームケース

ドームカバーはポリカーボネート製です。本体との接合部には防水用ゴムが付いています。

16 脱落防止コード

ドームケースを開けたときにカメラ本体からドームケースが脱落するのを防ぎます。

底面



1 定格ラベル

本機の名称や、電気関係の定格情報が記載されています。

2 ナット (3/4 NPT または M27 (ピッチ 2.0 mm))

3 HDMI コネクタ

市販の HDMI ケーブルを接続します。

ご注意

- 設置の際はケーブルの自重や外力で、HDMI ケーブルが抜けないように、市販の抜け止めパーツを使用する、もしくはケーブルを固定することをおすすめします。

- HDMI 使用時は、外気温度が 0℃～50℃ 以内でお使いください。

4 ベントフィルター

ご注意

傷をつけたり、穴をふさがないようにしてください。

5 封止ゴム

付属のマルチコネクターケーブルを取り付ける場合、外して使用します。

6 GND

カメラを設置するときは、必ずアースを接続してください。

補足

電源入力ケーブルからアースを接続している場合、GND ネジからのアース接続は不要です。

ご注意

付属のネジ ⊕ M4 × 8 をご使用ください。

7 端子カバー

カバーを外すと HDMI コネクタがあります。HDMI を使用する場合は、外してください。

ご注意

HDMI の端子カバーを外して使用する場合はカメラ本体の防水効果がなくなります。屋外では使用しないでください。

8 落下防止ストラップ

ブラケットと接続し、落下を防止します。

9 ネジ

準備

ケーブルの接続、配線を変更する

出荷時、LAN ケーブルはカメラに接続済みです。
ご使用環境に合わせてケーブルの接続、配線を変更する場合は、下記の手順をご覧ください。

◆ ケーブルを側面から引き出すときは、「c) 側面の接続口を使う場合」をご覧ください。

a) 出荷時のまま使用する場合

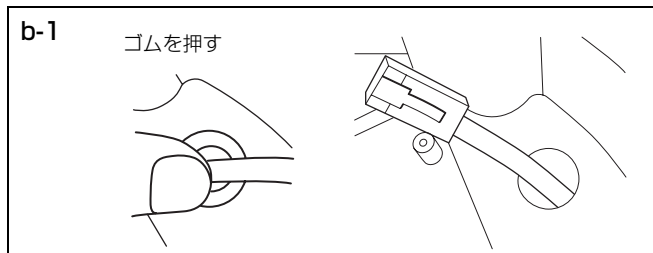
準備はこれで完了です。

b) 市販の LAN ケーブルを使用する場合

ケーブル径 $\phi 5.5 \sim \phi 6.5$ の LAN ケーブルをお使いください。

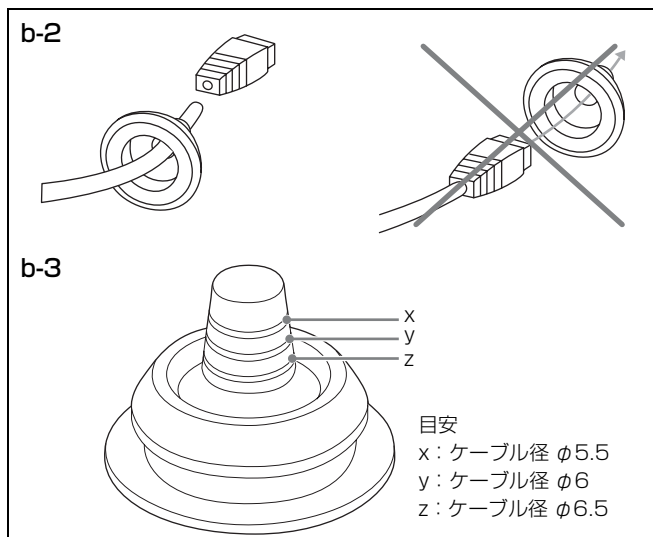
① ドームケースを外す。「(カメラを取り付ける-手順1) 8ページ」を参照

② 付属の LAN ケーブルを取り外す。(b-1)



③ LAN ケーブルに封止ゴムをつける。(b-2)

付属の封止ゴムを適切な位置で切り、ケーブルを挿入してください。(b-3)

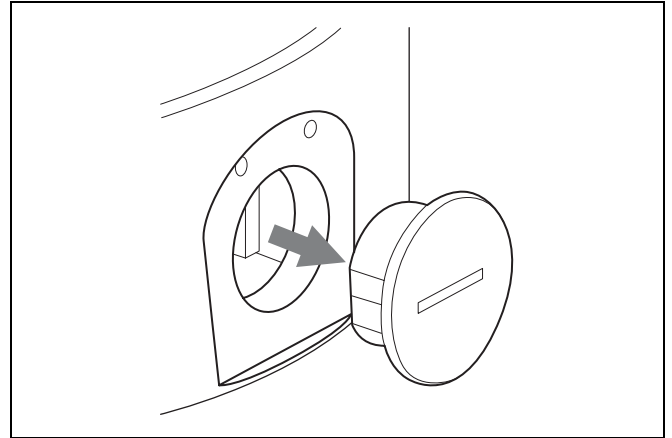


ご注意

- ケーブルは強く引かないでください。端子から外れる恐れがあります。
- ケーブルと封止ゴムの接続部は防水処理を行ってください。

c) 側面の接続口を使う場合

① 側面の接続口カバーを外す。



ご注意

フランジ付きパイプまたはケーブルグランドを使用する場合は、「カメラ設置時の注意事項」(11 ページ)をご覧ください。

d) マルチコネクターケーブル (付属) を使用する場合

ネットワークケーブル以外のケーブルを使用する場合は、マルチコネクターケーブル (付属) を使用してください。

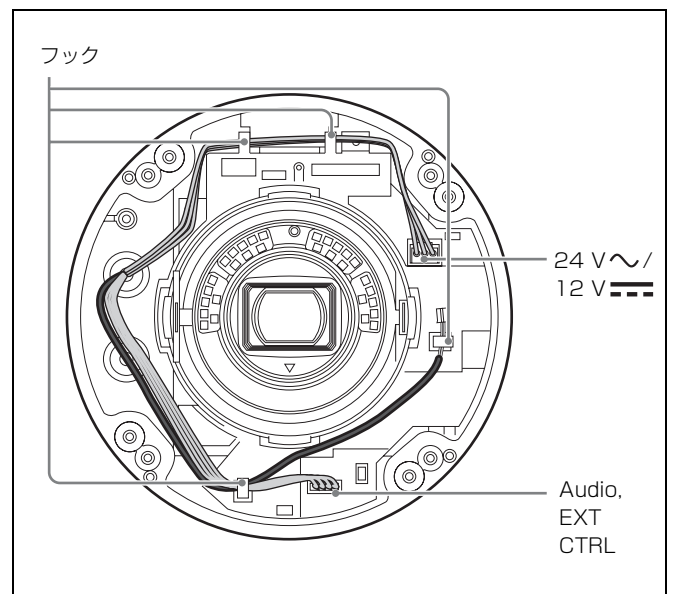
① ドームケースを外す。「(カメラを取り付ける-手順1) 8ページ」を参照

② カメラ本体の封止ゴムを取り外す。

③ マルチコネクターケーブル (付属) をカメラ本体の封止ゴムが付いていた穴に確実に装着する。

ご注意

確実に装着しないと浸水の恐れがあります。



④ AC/DC, 10Pin (Audio,EXT CTRL) をコネクタに接続し、ケーブルをフックに収納する。

設置

警告

- 壁や天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が 10 kg 以上の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。十分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、落下防止ストラップを必ず取り付けてください。
- 天井へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。
- ブラケットおよび本体は、段差、異物、ゆがみが無い場所に取り付けてください。設置できない可能性があります。

取り付けネジについて

付属のブラケットには $\phi 4.5$ mm の穴が 8 か所あいています。このうち、4 か所（ピッチ 83.5 mm または 85.7 mm）を使ってブラケットを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。（ネジは付属していません。）

鋼材の場合：M4 ネジとナットで固定してください。

木材の場合：タッピンネジ（呼び径 4）で固定してください。板厚は 15 mm 以上必要です。

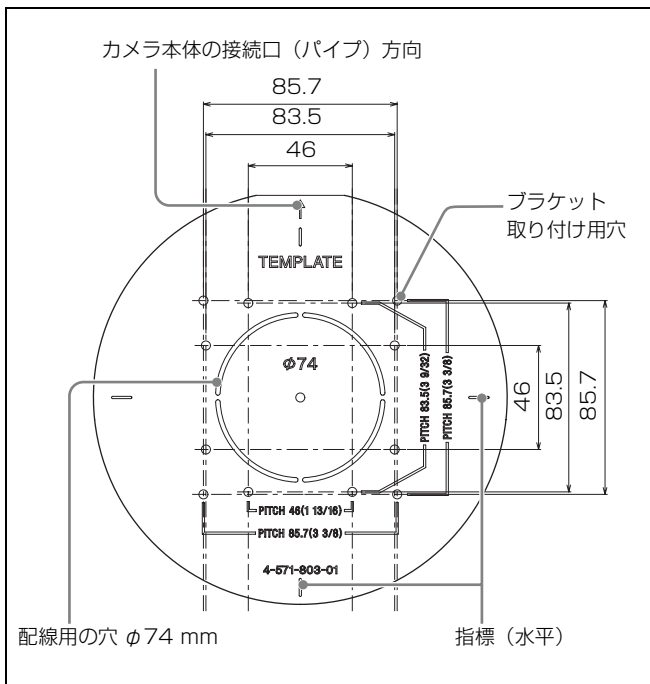
コンクリート壁の場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。

ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

警告

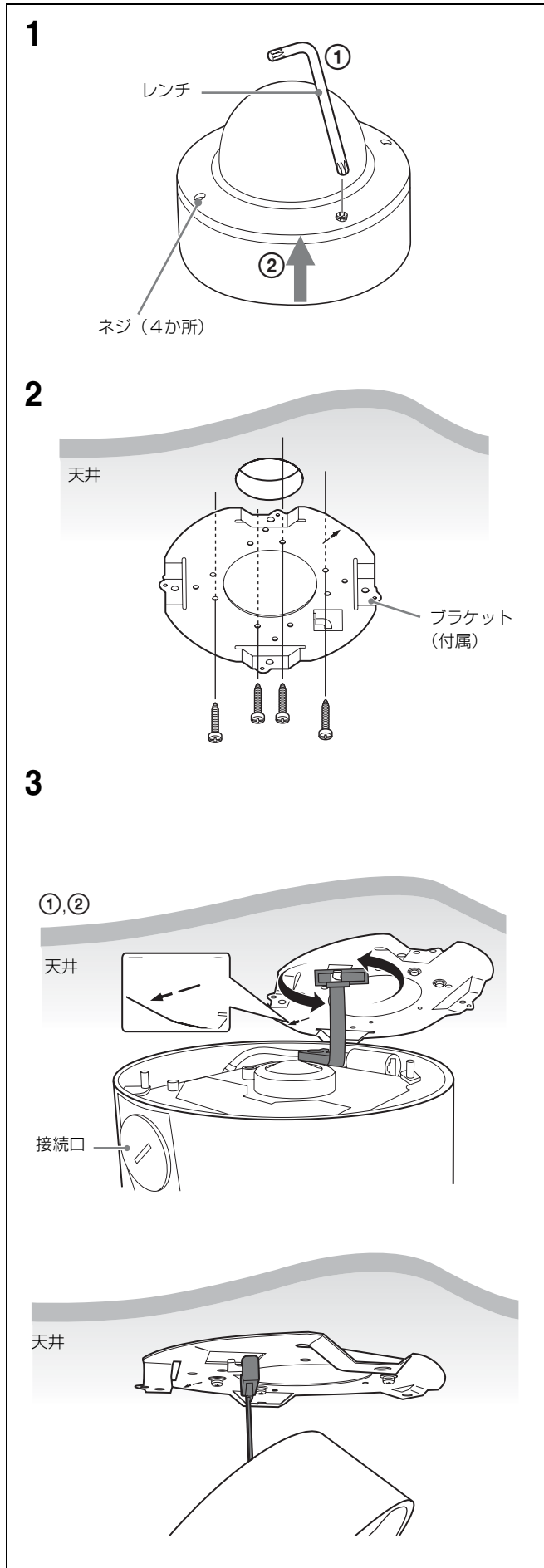
設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

カメラの取り付け位置を決める



カメラの撮影方向を決めてから、付属のテンプレートを使って配線用の適切なサイズの穴（ $\phi 74$ mm以内）をあけ、ブラケット取り付け用穴（4 か所）の位置を決めます。「↑」はカメラ本体の接続口（パイプ）方向になります。

カメラを取り付ける



1 ドームケースを外す。

① 付属のレンチでネジを緩める。

② ドームケースを手前に持ち上げて外す。
ネジが引っ掛かるときは、ネジを上を持ち上げてください。

2 付属のブラケットを天井や壁に取り付ける。

「↑」マークはカメラ本体の接続口 (パイプ) 方向になる。使用するネジについては、「取り付けネジについて」(7ページ)をご覧ください。

3 カメラ本体のストラップをブラケットに装着する。

① ブラケットと接続口の位置を図3のように合わせストラップを引っかける。

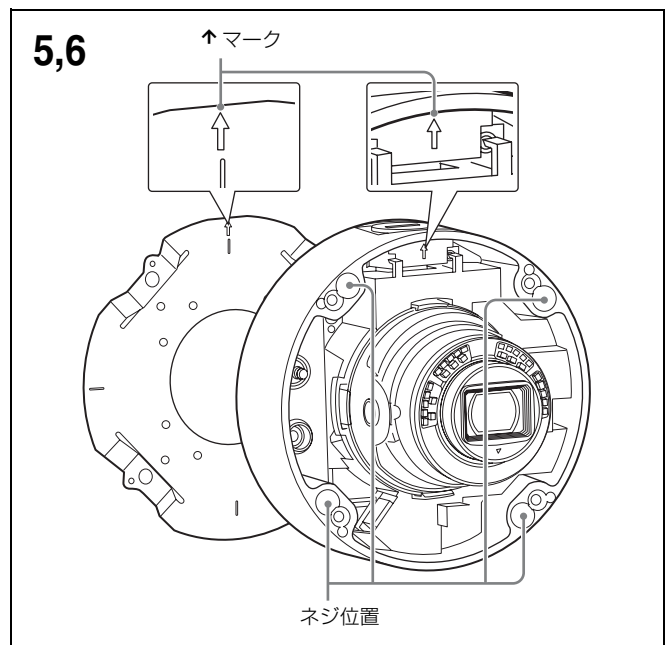
② 落下防止機能を満足するためストラップを 90° 回転させる。

4 底面のケーブルを配線する。

付属の LAN ケーブルを接続してください。

5 カメラ本体をブラケットに仮止めする。

ブラケットの「↑」マークとカメラ本体の接続口上部にある「↑」マークを合わせてカメラ本体をブラケットにカチッと音がするまで押し込んでください。カメラ本体が仮止めされ、手を離してもカメラ本体がブラケットに装着したままになります。



ご注意

カメラ本体が一時的に取りついている状態です。振動や衝撃で仮止めが外れる場合があります。仮止め後、すぐに本体取付ネジでブラケットにカメラ本体を取り付けてください。

- 6** 本体取付ネジ（4本）でブラケットにカメラ本体を取り付ける。

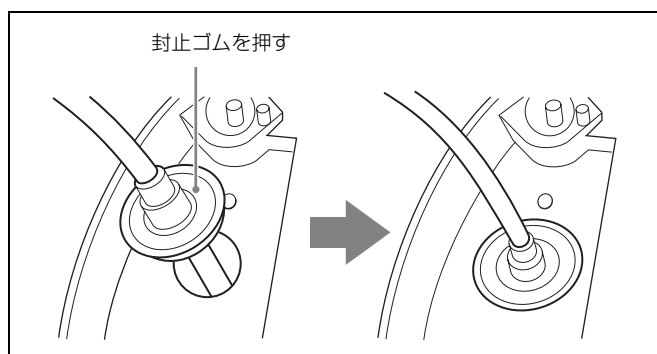
本体に既に装着されている取り付けネジ（4本）を締めて、カメラ本体をブラケットに固定してください。

ご注意

確実に装着しないと浸水の恐れがあります。

カメラを取り付ける（市販のLANケーブルを使用する場合）

- 1 カメラを取り付ける手順1～3（8ページ）を実施する。
- 2 市販のLANケーブルを本体に装着する。



封止ゴムのついたLANケーブルをカメラ本体の凸印の付いた穴に装着します。

- 3 カメラを取り付ける手順5～6（8ページ）を実施する。
- 4 ケーブルを適切な長さに切り、先端にネットワークコネクタを装着する。
- 5 ケーブルをネットワークポートに接続する。

ご注意

確実に装着しないと浸水の恐れがあります。

カメラを取り付ける（側面の接続口を使用する場合）

- 1 カメラを取り付ける手順1～3（8ページ）を実施する。
- 2 底面のケーブルを配線する。
 - ① ケーブルをパイプ、接続口に通します。
 - ② ケーブルを接続します。
 - ③ パイプを接続口に通します。
- 3 カメラを取り付ける手順5～6（8ページ）を実施する。

ご注意

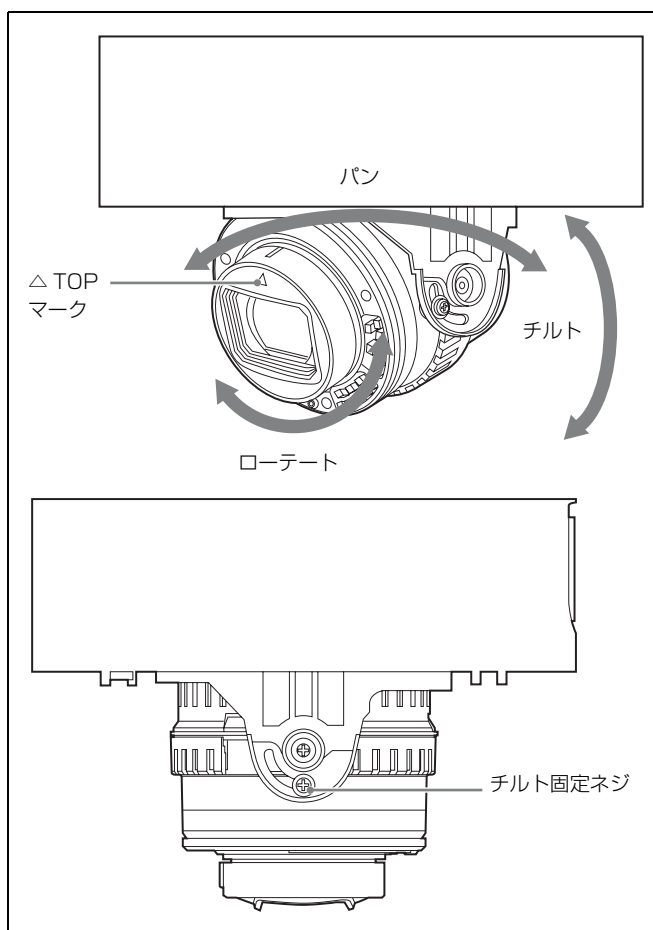
フランジ付きパイプまたはケーブルグランドを使用する場合は、「カメラ設置時の注意事項」（11ページ）をご覧ください。

カメラを取り付ける（マルチコネクターケーブルを使用する場合）

- 1 カメラを取り付ける手順1～3（8ページ）を実施する。
- 2 底面のケーブルを配線する。

必要に応じて付属のLANケーブルやマルチコネクターケーブルを配線してください。
- 3 カメラを取り付ける手順5～6（8ページ）を実施する。

撮影方向と撮影範囲の調整



パン方向、チルト方向とローテート方向の調整をすることができます。

パン方向とローテート方向は固定ネジはありません。

△ TOP マークは画像の上方向を示します。設定メニューで上下反転することもできます。

- 1 カメラを調整し、撮影したい方向にレンズを向ける。
(パン、チルト、ローテート)

画像を見ながら、画角やフォーカスを調整し、撮影範囲を決定します。

- 2 チルト固定ネジを締める。

締付トルク 85 N・cm ± 10 N・cm で締めてください。

ご注意

- チルト固定ネジを規定以上の力で締め付けると破壊や変形の恐れがあります。
- ドームケースを取り付けることによって、多少のボケが生じる場合があります。その場合はシステムメニューでフォーカス調整を行ってください。詳しくは「ユーザーガイド」をご覧ください。
- ズームやチルトおよびローテートによっては、ドームケースを取り付けるとケースが映り込む場合があります。また、ドームカバーの光学保証領域以外のゆがみが映り込む場合があります。

SNC toolbox mobile を使用しての調整

スマートフォンやタブレットに SNC toolbox mobile をインストールして使うことで簡単に画角調整を行うことが可能です。

別売の IFU-WLM3 を挿入すると、スマートフォンの Wi-Fi 設定で下記の SSID が表示されますので選択してください。

SNC- (IFU-WLM3 の Mac アドレス)

パスワードの初期値は下記の通りです。

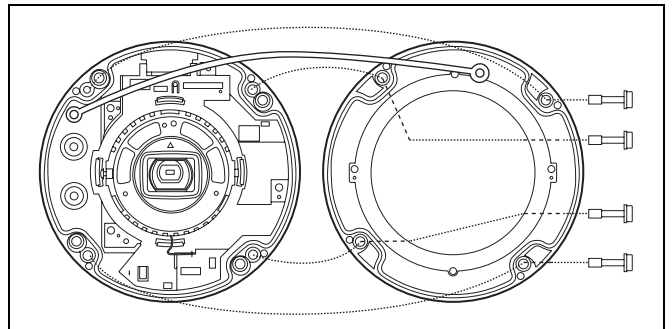
Password: T8qUDTUuFyb8a

詳しくは Web サイトの SNC toolbox mobile アプリケーションガイドをご覧ください。

ドームケースを取り付ける

ドームケースとカメラ本体を固定する。

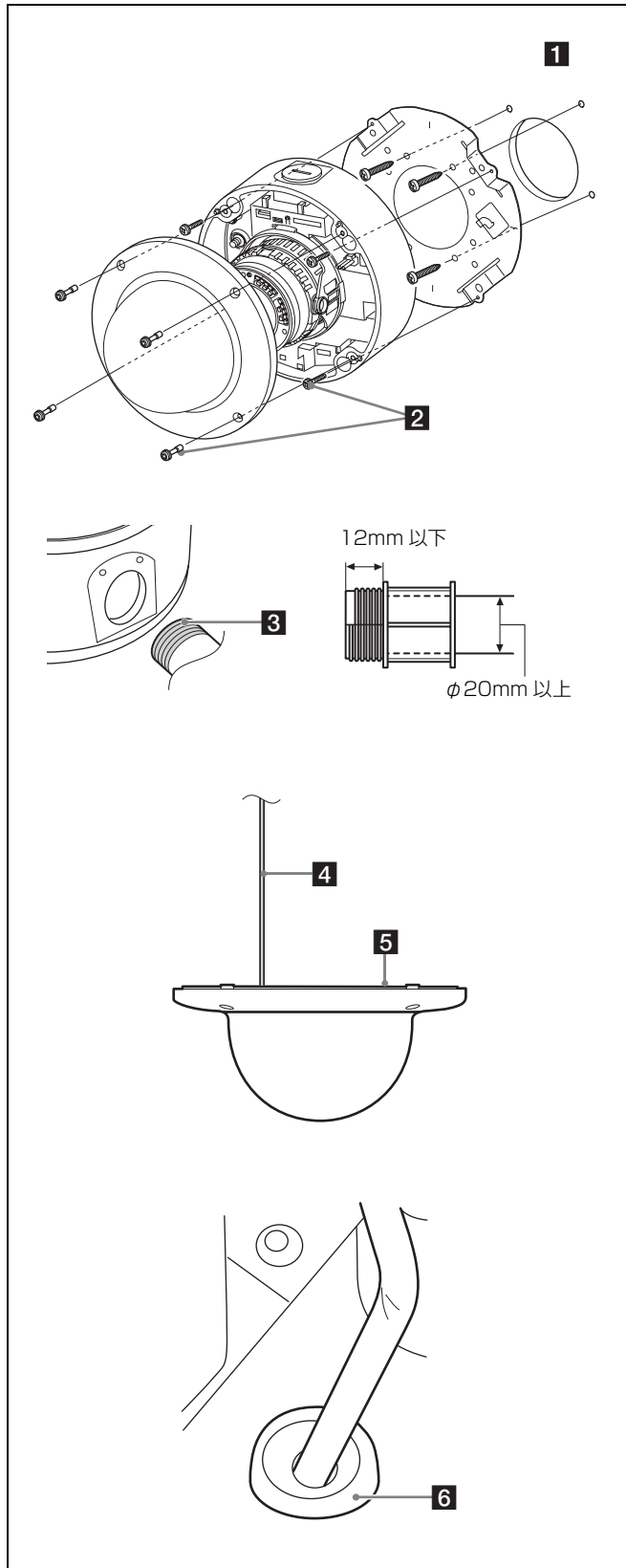
ドームケースのネジ穴とカメラ本体のネジ穴を合わせ (4 か所)、付属のレンチでドームケース固定ネジ (4 本) をしっかり締めます。



ご注意

脱落防止コードやケーブルが、ドームケースとカメラ本体の間にはさまらないように注意してください。

カメラ設置時の注意事項



このカメラは保護等級 IP66 に準拠していますが、本項目は結露または浸水による事故を防ぐための重要な注意事項です。下記の注意事項をよくお読みのうえ、設置してください。

- 接続ケーブルの先端（コネクターを含む）が水に触れないように設置してください。または、防水処理を確実に行ってください。線材内部を伝って浸水する場合があります。
- ブラケットおよび本体は、段差、異物、ゆがみが無い場所に取り付けてください。（**1**）
- 設置説明書に従い正しく取り付け、ネジで固定してください。（**2**）
- $\frac{3}{4}$ -14 NPT または M27（ピッチ 2.0 mm）の規格でネジ部の長さが 12 mm 以下および内径が $\phi 20$ mm 以上のパイプやジョイントを使用してください。（**3**）
- Conduit 部の接続にケーブルグランドを使用する場合、次の条件を満たしたものを使用してください。
 - $\phi 27$ mm の穴に取り付く
 - ネジの長さが 12 mm 以下
 - 設置状況に適した防水性能がある

組み立ての注意点

- 脱落防止コードやケーブルをドームケースとカメラ本体の間に挟み込まないように注意してください。（**4**）
- 防水ゴムにゴミの付着が無く、きちんと溝に収まっていることを確認してからドームケースを取り付けてください。（**5**）
- 封止ゴムやマルチコネクターケーブルを使用する場合は、ゴムの部分にゴミの付着がないことを確認し、カメラ本体に適切に取り付けてください。（**6**）

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブルを使って、本機の LAN ポートとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

電源の接続

本機は、次の 3 通りの方法で電源を接続できます。

- DC 12 V
- AC 24 V
- IEEE802.3af 準拠の電源供給装置 (PoE* 方式)

* PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意

- 電源を入れた後、すぐに電源を切らないで下さい。電源を切る場合は、5分程度お待ちください。
- PoE 方式で電源を供給する場合、電源入力ケーブルは接続しないでください。

DC 12 V または AC 24 V 電源への接続

本機の電源入力ケーブルを DC 12 V または AC 24 V の電源供給装置へ接続します。

- DC 12 V または AC 24 V は、AC 100 V に対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。(本機で受ける電圧 (受電端電圧) の保証範囲となります。)

DC 12 V : 10.8 V ~ 13.2 V

AC 24 V : 19.2 V ~ 28.8 V

- DC 12 V または AC 24 V の配線には、UL ケーブル (VW-1 style 10368) を使用してください。

推奨電源ケーブル

DC 12 V 出力電源をご使用の場合

ケーブル (AWG)	#14	#16	#18
最大ケーブル長 (m)	50	30	20

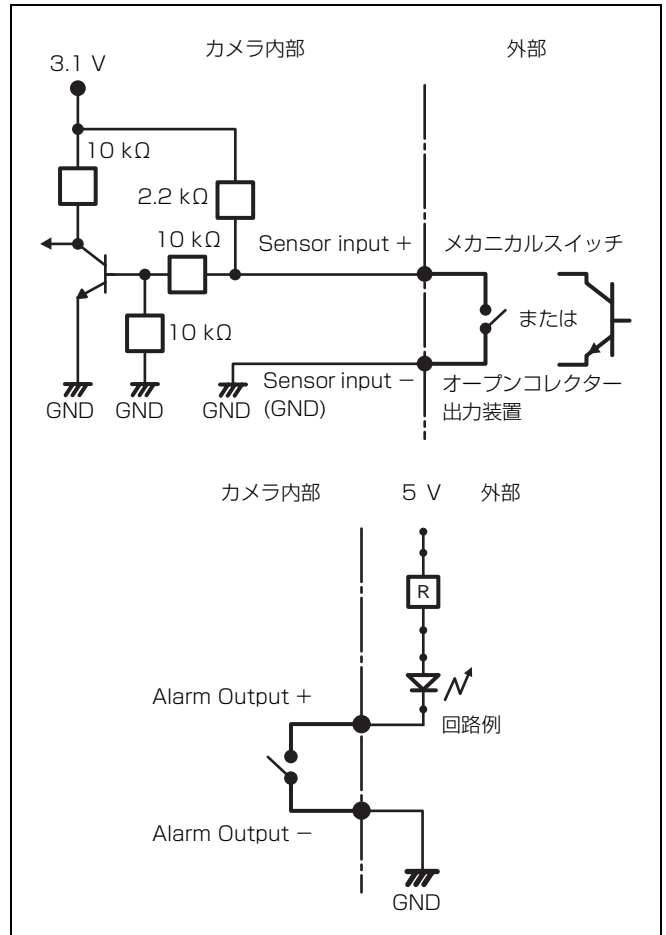
AC 24 V 出力電源をご使用の場合

ケーブル (AWG)	#20	#22	#24
最大ケーブル長 (m)	106	67	42

IEEE802.3af 準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3af 準拠の電源供給装置は市販のネットワークケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/O ケーブルへの接続



本機にIPアドレスを割り当てる

1 ダウンロードサイトより任意のフォルダに「SNC toolbox」のインストーラーをダウンロードする。

2 SNC toolbox をインストールする。

ダウンロードしたインストーラーの ZIP ファイルを解凍する。

「SncToolbox_Setup.exe」をダブルクリックする。

インストール方法や使用方法の詳細については、アプリケーションガイドをご覧ください。

3 IP アドレスを割り当てる。

インストールした SNC toolbox を使って、IP アドレスを割り当てる。

詳しくは、アプリケーションガイドの「SNC toolbox を使う」-「IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

補足

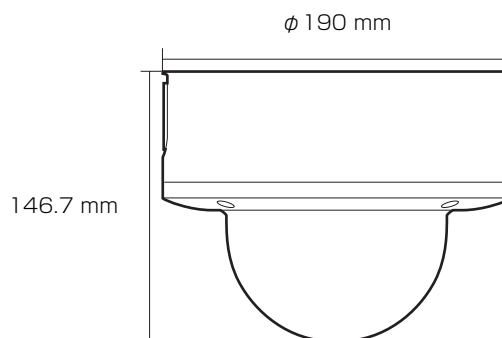
SNC toolbox は、Sony Network Camera toolbox の略です。

主な仕様

SNC-VM772R	
カメラ	
イメージセンサー	1.0 型 “Exmor R” CMOS センサー
有効画素数	約 2000 万画素
同期方式	内部同期
最低被写体照度 (30 IRE)	カラー : 0.06 lx (F1.8 1/30 s) 白黒 : 0 lx (赤外線 LED オン、F1.8 1/30 s)
水平画角	70.7° ~ 27.5° (アスペクト比 16 : 9) のとき 76.6° ~ 29.8° (アスペクト比 3 : 2) のとき
垂直画角	39.9° ~ 15.7° (アスペクト比 16 : 9) のとき 51.5° ~ 20.1° (アスペクト比 3 : 2) のとき
焦点距離	f = 8.8 mm ~ 25.7 mm
F 値	F1.8 (Wide) ~ F2.8 (Tele)
最至近撮影距離	300 mm
レンズ可動角度	パン : ± 192° チルト : - 10° ~ + 81° ローテーション : - 100° ~ + 100°
赤外線照射	波長 : 850 nm、赤外線 LED : 30 pcs
赤外線照射距離	50 m (30 IRE)
ビデオ	
映像圧縮方式	H.264 (High/Main Profile), JPEG H.264 (B-picture) は以下の解像度をサポートします。 3840 × 2160 2880 × 2160
最大フレームレート	H264 : 30 fps (3840 × 2160) /10 fps (1920 × 1080) JPEG : 2.5 fps (5472 × 3648)
オーディオ	
音声圧縮方式	G.711 (ビットレート : 64 kbps、サンプリング周波数 : 8 kHz) G.726 (ビットレート : 40、32、24、16 kbps サンプリング周波数 : 8 kHz) AAC-LC (ビットレート : 64 kbps、サンプリング周波数 : 16 kHz) AAC-LC (ビットレート : 128 kbps、サンプリング周波数 : 48 kHz)
インターフェース	
映像出力	HDMI (type A) × 1
マイク入力	ミニジャック (モノラル 2.2 kΩ、plug-in-power)
ライン入力	ミニジャック (モノラル)
ネットワークポート	10BASE-T/100BASE-TX (RJ-45)
アラーム入力 (センサー入力)	2 ポート (MAKE 接点、BREAK 接点)
アラーム出力	2 ポート (半導体リレー 最大 AC 12 V/DC 24 V、0.4 A) (本体とは電氣的に絶縁)
ワイヤレス LAN 端子	○
カードスロット	SD × 1
一般	
電源	IEEE 802.3af Class 3 準拠 (PoE 方式) DC 12 V ± 10%、AC 24 V ± 20%、50/60 Hz
消費電力	最大 12.95 W
使用温度	- 40 °C ~ + 50 °C
保管温度	- 20 °C ~ + 60 °C
動作湿度	20% ~ 90% (結露なきこと)
保管湿度	20% ~ 80% (結露なきこと)

外形寸法（直径×高さ）

【記載の外形寸法は、おおよその数値です。】



質量	約 1900 g
付属品	ブラケット (1)、テンプレート (1)、レンチ (1)、ネジ (M4 × 8) (1)、封止ゴム (1)、マルチコネクタケーブル (1)、安全のために (1)
別売アクセサリ	IFU-WLM3 (USB ワイヤレス LAN モジュール)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い

本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。

外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があります、故障したり事故につながる可能性があります。詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

ネットワークカメラの PoE 給電による接続時には、屋外への配線をしないでください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>